

【こだま句会】2022年7月

桑の実や古老伝える絹の道	本山文子
浅草の路地の明るし七変化	田中一男
うどん打つ腕逞し夏のれん	鳥海敏雄
朝顔に水やる女兒や裏通り	瀧澤正行
朝顔やいくつ咲いたと子らの声	角田英昭
開け放す部屋の仕切りに夏暖簾	島田多嘉子
朝顔や駄菓子屋つひに店じまい	松尾佐知子
夏暖簾媼の杖がもちあげる	中村桂子
余生なり紺の朝顔風まかせ	小川水草
半夏雨歳時記を繰る指の音	友井眞言
夏のれんとろろ定食すすりおり	木村武子
開墾し小玉すいかを植えにけり	常世田芳子
押し上げてそそる蕎麦の香夏のれん	後藤貞夫
この花の愛素直なり振花	白石保次郎
風清し早苗が満つる田んぼかな	柳瀬節子
朝顔やオールバックと坊主刈り	高橋和江
朝顔や普段の暮らし戻りつつ	大田土男（講師）

